

第1回 牧田川流域における流域治水勉強会（令和8年7月28日）

- 気候変動による水災害の激甚化・頻発化が懸念される中、牧田川流域では令和6年8月洪水による広域的な浸水被害が発生するなど近年洪水が頻発しており、水害リスクの軽減に向けた流域治水を一層推進する必要がある。
- このため、牧田川流域全体で取り組むべき具体的な流域治水対策を検討することを目的とし、牧田川流域の3県9市町と国交省で構成する「牧田川流域における流域治水勉強会」を設立。



【勉強会の構成 3県9市町・国交省】

流域市町 : 大垣市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、池田町、いなべ市、米原市、

県 : 岐阜県、三重県、滋賀県、岐阜県大垣土木事務所、岐阜県揖斐土木事務所

国(事務局) : 国土交通省木曽川上流河川事務所

【第1回 勉強会の概要】

日時 : 令和8年7月28日(火) 10:00~12:00
場所 : ソフトピアジャパンセンター10階 大会議室 WEB併用
出席 : ※勉強会の構成組織



＜主な意見等＞

- 国交省より牧田川流域の概要や流域治水を実践するための法制度等を紹介。
- 大垣市と池田町より令和6年8月台風第10号の浸水被害の状況とその対応や今後の課題を共有。
- 岐阜県より令和6年8月台風第10号災害検証委員会の検証結果の共有と岐阜の中心市街地を流れる境川の特定期都市河川指定の状況について紹介。
- 大垣市及び池田町より直近の浸水被害を踏まえた流域治水対策を関係者でより強力に進めていくことについての意見があった。
- 米原市より流域の持続的な発展のため、特定都市河川指定後の土地利用への具体的な影響や全国的傾向について次回以降の勉強会で情報提供してほしい旨の意見があった。
- 上記を踏まえ、今後の勉強会では関係者での意見交換を継続しつつ、特定都市河川浸水被害対策法の活用も視野に入れ牧田川の流域治水対策を具体的に検討していくことを確認した。
- 本勉強会では牧田川に焦点を当てた検討を行うことから、検討成果等は既存の木曽川水系流域治水協議会や木曽川水系揖斐川流域治水プロジェクトへ適宜反映させることを確認した。